

ハンドボール

大分県



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 60

No. A7

(16名用)

スローオフチーム

A	大分県	神奈川県	B
合計	28	20	合計

大会名	第67回国民体育大会 志保清流国体		
H.24年	10月5日(金)	場所	飛騨高山びわまりんアリーナ
種別	少年	男・女	回戦 第1回戦 準決 決 リーグ

A 平井 徳尚 7m TC 阿部 直人 B

A 大分県	警告	退場	失格	チームタイムアウト	
				前半	後半
役員A 平井 徳尚				29	11
役員B 富松 秋實				29	26
役員C 青山 北斗				得点	
役員D				前半	後半
1 佐藤 弘基				-	-
2 山本 浩大				-	2
3 光吉 琢磨				T	2
4 村山 晴輝					
5 佐藤 友哉				正	正
6 佐藤 友哉					
7 佐藤 友哉					1
8 中尾 俊介				T	2
9 三浦 知輝					
10 前田 圭樹				F	4
11 井上 真					正
12 井上 真					6
合計				13	15

B 神奈川県	警告	退場	失格	チームタイムアウト	
				前半	後半
役員A 阿部 直人				17	58
役員B 鶴岡 高伸					18
役員C 中村 勝哉				得点	
役員D 高橋 博光				前半	後半
1 石川 貴士					1
2 上野 貴					3
3 武田 龍也				T	1
4 石川 龍也					1
5 高橋 博光					1
6 小嶋 力				T	2
7 高橋 博光				T	3
8 下條 涼平				T	F
9 下條 涼平					5
10 田中 志慶				T	2
11 田中 志慶					T
12 小林 航大					2
合計				11	9

タイムキーパー 西田 駿太 メコアラ 上林 大悟

マッチメイク サイン 昭弘 審判員 サイン 城川 審判員 サイン 瀬良 研一

A		前半		B		後半		B	
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番	結果	得点	時間
10	1	3	03			5	14	1	01
		3	33	1	3	6	W	1	51
3	2	6	58			11	15	4	38
		7	23	2	6			5	27
10	3	7	33			5	16	5	50
		7	33	W	8	5	17	6	30
5	4	10	11			11	18	7	21
		10	20	3	3			7	27
8	5	12	34					7	48
		12	34	W	10	10	S	7	48
10	6	17	51			11	19	9	16
		17	58					9	44
		18	20	4	5			10	21
		19	20	5	4			12	17
5	W	19	20					13	41
2	7	19	58			11	O	20	4
		21	27	6	10	5	21	5	25
5	8	23	08					5	37
		24	03	7	6	11	O	22	16
3	9	24	21			5	23	8	11
		25	04	8	7			18	46
5	10	25	15			11	O	24	19
10	W	26	43					21	10
		27	05	9	10	2	25	21	48
8	11	27	35			10	26	23	53
		27	45	10	8	5	27	24	53
5	12	28	18					26	17
		28	52	11	8			27	26
		29	11			7	28	29	19
5	13	29	45					29	57
		29	57	5	10				

13 - 11 78 - 20

待記事項

ハンドボール

結果報告

No.61

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日 (金)	試合記号	Aう	回戦	1回戦
種別	少年男子	会場	飛騨高山ビッグアリーナ		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
大分県			神奈川県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	13	前半	11	20	
	15	後半	9		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 大森 久司

雄城台高等学校単一校で臨んだ大分県と法政大学第二高等学校を中心に選抜で臨んだ神奈川県との試合。神奈川県のスローオフから試合開始。

高目のディフェンスと足を使ったスピード感のある攻守を見せる神奈川に対し、大分県10番前田選手のディフェンスの裏に入る先制点を皮切りに、神奈川県3番武田選手の豪快なジャンプシュートで応戦。その後も攻守が入れ替わる激しい好試合となった。均衡を破ったのは、7分05秒に決めた大分県3番光吉選手のサイドシュート。神奈川県6番小嶋選手の速攻で取り返すも、再び3番光吉選手がサイドシュートで応戦。互いに一步も譲らぬ試合となった。大分県5番佐藤選手のステップシュート、8番中尾選手のポストシュート、10番前田選手のサイドシュートが連続で決まると、神奈川県は、たまたま17分50秒にタイムアウトを取り、5番猪俣選手、4番石川選手の連続得点で差を縮め一步もゆずらぬ試合展開が続いた。前半終了間際に取った大分県のタイムアウトで、本日5点目の佐藤選手の働きがあり、大分県は2点リードで前半を終了。

後半、神奈川県からのスローオフで再開するも大分県5番佐藤選手による6点目のシュートが決まり、3点差となる。神奈川県も11番園田選手、8番曾根選手が気迫で2点ずつ得点し、大分県の流れを神奈川県へ呼び戻した。しかし大分県7番楠元選手、11番井上選手の6点目、5番佐藤選手の多彩な10点目の得点を重ね、18分46秒に神奈川県は遂に3枚目のタイムアウトを申請。機敏な動きのできる8番曾根選手を1-5ディフェンスの頭に置き大分県5番佐藤選手と11番井上選手の動きを封じた。27分26秒に大分県もタイムアウトを申請。8点差のリードを慌てることなく、最後までしっかりやろうと平井監督が指示。残り時間を丁寧に攻めた大分県は、8点差を守り試合を終了した。